



みどり野

6月号 三木市立口吉川小学校



運動会練習での一コマ

“子どもが創る”を大切に

にわかに田んぼがにぎやかになってきました。田植えの季節の到来です。これも口吉川ならではの風物詩だと感じていますが、子どもたちの目にはどのように映っているのでしょうか。故郷の良き風景の一つとして心に残ってくれることを願っています。

去る5月23日(土)、たくさんの保護者様・地域の皆様・ご来賓の皆様に見守られ、今年も無事に運動会を開催することができましたこと、誠にありがとうございました。「子どもが創る運動会」を目指し、子どもと教職員が一つになって取り組んできました。口吉川小にとっては新しい試みが多く、子どもたちも教職員も苦労は大きかったものの、それ以上に得るものがありました。

例えば、「ダンシング玉入れ」の初練習では、勝ちたい気持ちが先行し、ルールに沿った戦いがうまくできませんでした。ルールも十分に洗練されておらず、不平・不満の声が上がりました。企画・進行した6年生にとっては、大きなショックだったと思います。しかし、6年生は下級生の声に耳を傾け、“よりよい運動会を自分たちの手で創る”という思いで改善していくのでした。

教職員も、不平・不満を建設的な意見につなげられるよう、改善点や提案を伝える姿勢を子どもたちに促しました。素直な子どもたちはそれらを吸収し、不満で終わらせず、より良いものを生み出そうとする風土が育ち始めました。

「子どもが創る運動会」では、子どもたちにゆだね、考えさせ、体験させることを大切にしました。まだまだ改善の余地はありますが、自ら考え動く楽しさを感じ始め、瞳を輝かせる姿を見ることができたのは、大きな手ごたえでした。

口吉川小学校の歩みは、これからも続きます。6月も「子どもたちが創る活動」を進めながら、「学びの楽しさ」を存分に味わえる環境づくりに、教職員一同取り組んでまいります。引き続き、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

三木市立口吉川小学校長 山崎 淑

運動会の全校表現「四神降臨～口吉川を守れ～」から

